



めざせ！！南十字星

★夢と勇気と元気をもって★ 2019・7. 03

学校だより

7月号

ヨハネスブルグ日本人学校

早くも1学期終了 そして、冬休み突入！！



運動場のプラタナスの葉もすっかり紅葉し、寒風にさらされています。そんなある朝、運動場一面に霜が降った日、運動場入り口の階段のたもとに、日本ではあまり見られない夏を思わせる赤と黄色のグラデーションされた花が鮮やかに咲いています。(辞書で調べると、オオトリトマという名前で、別名をトーチリリーと言うそうです。)

そんな日本とは変わった冬の佇まいの中、子供たちは日々、元気に勉強や諸行事に取り組んでいます。6月を振り返ると、6日に暴動対応の避難訓練、18日～21日は全校テスト週間、26日に第2回国際交流(オランダ子どもの家訪問)、29日は授業参観と仕事を語る会が実施され多くの学びを得ました。特に、29日に実施された仕事を語る会には4名の講師の皆様(橋本徹様トヨタ自動車、羽田武雄様富士フィルム、山下(牧野)久美子様JETRO、芳野啓介様島津製作所)の協力のもと、仕事への興味やまだ見ぬ自分の将来の姿を描くなど多くのことを学ぶことができましたと思っています。ご協力頂いた4名の皆様、本当にありがとうございました。

そして、7月13日から1か月間の冬休みの開始です。病気やケガに気を付け、30日という多くの時間を充実した日々とし、冬休み明けには一回り大きくなった姿を見せてくれるものと期待しています。



【橋本徹様・トヨタ自動車】



【羽田武雄様・富士フィルム】



【山下(牧野)久美子様JETRO】



【芳野啓介様・島津製作所】

<校長室からひとごと>

～長期休み、子供たちに父親の得意技を～

さて、いよいよ冬休みが始まる。子供たちにとって、これほどワクワクする時はないのではないだろうか。「朝は寝坊ができるし、思いっきりゲームやパソコンができるぞ。注意する先生もいないぞ。ぼくの天下だ。私の天下だ。」そんな幻想を抱きながら、一方では「今年こそしっかりやるぞ。」と計画を立て、冬休みの宿題に取組み、充実した冬休みのスタートを切る。しかし、たっぷりな自由時間、次第に気持ちがゆるみ、だらだらとした生活が続き、休み後半は、額に汗して宿題のまとめに忙しいのが常ではないだろうか。

しかし、そんなうまくいかない長期休みを経験する中で、計画的に勉強することの難しさや自分の意思の弱さを痛感しながら、少しずつ成長していくのではないだろうかと考える。そして、締め切り日には、必ず宿題はやり遂げなければならないのだと学ぶのもこの長期休みだ。

そんな長期休みに、ぜひ、家庭でやってほしいことがある。それは、普段触れ合う時間が少ない父親と子供と一緒に何かをやる、何かを作る。そんな時間を作ってほしいということだ。私の場合は、子供を川に連れて行き、一緒に泳いだり、飛び込んだり、時には金突き(チョス)を手作りし、それで魚を突く練習をさせたりしたものだ。ある時は、一緒に模造紙に日本地図を描き、県名や鉄道路線を書き入れ、今まで行ったことのある都市名を書いたり、これから行きたい街を書き入れたりしたものだ。お父さん方は長期休みと言えども忙しい毎日だが、あえて、子供たちを戸外に連れ出し、あるいは、イニシアティブをもって、父親の得意技をぜひ子供に見せてほしい。

父親と一緒に取り組んだ長期休みのイベントは、子供たちの一生の宝物になるに違いない。冬休みの終わりに、一家団樂の笑いの中で、長期休みの思い出が語られることを期待したい。

